


千里丘陵の
須恵器




日時：11月16日(月)～11月20日(金)
開館：午前10時～午後4時
会場：関西大学博物館 第二展示室
入場料：無料

関西大学博物館実習展

関西大学博物館実習展

丹後ちりめんのあゆみ
— 伝統の和 紡ぐ未来 —

日時：二〇一九年十一月十六日(月)～十一月二十日(金)
十時～十六時
会場：関西大学博物館 第二展示室
入場料：無料



平成21年度

関西大学博物館実習展

11月16日(月)～11月20日(金)

関西大学博物館第2展示室

開館時間：10時～16時 入館料：無料

関西大学博物館実習展

知られざる
大阪の伝統工芸

張り子




Kansai University Museum The Second Gallery
11/16(Mon.)～11/20(Fri.)
A.M. 10:00～P.M. 4:00 入場無料

すごくろく展

— 絵双六にみる大阪近代史 —

関西大学博物館実習展
2009年11月16日(月)～20日(金)
【開館時間】10:00～16:00
【開場】関西大学博物館 第二展示室
入場無料



関西大学博物館実習展

ふろしき
境界となる一枚の布



2009.11.16(月)～11.20(金)
関西大学博物館 第2展示室
開館時間：10:00～16:00
入場無料

関西大学博物館 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線関大前駅下車 徒歩10分

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL：06-6368-1171 E-mail：hakubutsukan@ml.kandai.jp

平成21年度 関西大学博物館実習展

11月16日(月)～11月20日(金) 関西大学博物館第2展示室



千里丘陵の須恵器

古墳時代、朝鮮半島から日本に伝わった“新しい”焼き物、須恵器。
海を渡って来た陶人たちは大阪でも須恵器生産を始め、特に良質な粘土に恵まれた北部の千里丘陵は、その後大規模な生産地帯へと発展していきました。
今も吹田市内に数多く残る窯跡や出土品をもとに、千里丘陵でどのように須恵器生産が作られ始め、推移していったのかをたどり、また現在行われている須恵器作りを紹介していきます。須恵器とはこういった焼き物なのか、その魅力を味わって下さい。



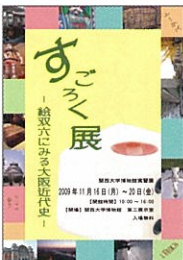
丹後ちりめんのあゆみ～伝統の和 紡ぐ未来～

豊かな自然に恵まれた京都・丹後。この地では、今も伝統の技として丹後ちりめんが受け継がれています。職人が織りなす純白の美しい丹後ちりめんには、最大の魅力であるさざなみのような『シボ』という独特の質感がみられます。その質感がどのように生み出されているのか、皆さんはご存じでしょうか。丹後ちりめんは古くから多くの人の手によって育まれてきました。そのあゆみは、現代から未来へと紡がれ続けています。私たちの展示を通して、丹後ちりめんをより身近に感じていただければ幸いです。



ふろしき～境界となる一枚の布～

皆さんは「ふろしき」で何かを包んだことがありますか。「包む」という行為には、かくす・さえぎる、などの意味があります。つまり、ふろしきには包むものとその外側の空間とを分ける境界の役割があるのです。この展示では、境界としてのふろしきに焦点を当てました。ふろしきの基礎知識や日常と非日常での使い分けなどを紹介します。また、様々なふろしきの包み方を実際に体験できるコーナーもありますので、日本の「包む」文化をぜひ味わってみてください。



絵双六にみる大阪近代史

双六は世相を映す鑑。さいころを振り、駒を進めて、ひとつ、またひとつ「アガリ」(理想)へと近づいていく昔ながらのボードゲームです。鉄道開通、百貨店の登場、戦争と復興、万国博覧会…、ある時代の中にいて当時の人びとは何を理想としていたのでしょうか。また、どのような時代を経て、私たちは現在まで来たのでしょうか。答えは双六の中にあります。

近代以降の大阪の双六にスポットをあててみました。双六を通して、大阪の庶民が近代以降に歩んできた道のりを、一緒にたどっていきましょう。



知られざる大阪の伝統工芸～張り子～

日本の伝統工芸の一つともいえる「張り子」。これは木型に和紙を重ね、型をくり抜き、色彩豊かな配色で施された人形のことをいいます。歴史は古く、室町時代中国から伝来し、神社の信仰に始まり、玩具に至るまで庶民に愛され続けてきました。今日全国に数多く存在し、種類も豊富なこの人形は元を正せば大阪が名産といえます。そこで私たちは大阪の張り子にスポットをあて、広く知っていただきたいと思えます。祖先が辿ってきた生活の過程から、人々の心根で忘れかけていた日本独自の伝統工芸の温もりを体感してください。

関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL : 06-6368-1171
<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum.index.html>
E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp

■アクセス 関西大学千里山キャンパス阪急千里線「関大前」駅下車徒歩 10分

